

20034

腎動脈血行再建術における CIN 発生の検証

¹千葉西総合病院、²千葉西総合病院、³千葉西総合病院

金子 健二¹、二階堂 由美¹、阿部 翔太¹、持田 慶彦¹、竹内 卓也¹、渥美 真紀¹、渡部 惇¹、林 貞治¹、平賀 由佳²、清水 七恵²、牧野 仁人³、廣瀬 信³、板倉 靖昌³、倉持 雄彦³、三角 和雄³

【はじめに】腎動脈血行再建術（以下 PTR）は腎臓の血流改善を目的として行われるが、同時に造影剤による造影剤腎症（以下 CIN）のリスクがある。

【目的】PTR における CIN 発生を PTR 以外のインターベンション（以下 IVR）と比較し、腎機能に及ぼす影響を検証する。

【対象及び方法】2008. 1. 1～2012. 1. 31 までにイオヘキソールにて PTR を施行した 56 名（男性 34 名、女性 22 名、平均年齢 71. 1 ± 10. 3 歳、平均造影剤使用量 113. 9 ± 63. 1ml、Cr 値平均 1. 04 ± 0. 36mg/dl）の群と、2010. 1. 1～2011. 12. 31 に IVR を施行した 190 名（男性 141 名、女性 49 名、平均年齢 69. 6 ± 9. 1 歳、平均造影剤使用量 167. 1 ± 86. 1ml、Cr 値平均 0. 86 ± 0. 24mg/dl）の群を対象とし、治療日から 3 日以内の血清 Cr ピーク値が 0. 5mg/dl 又は、25%以上の上昇を認め、かつ正常値を超えたものを CIN と定義し、比較し検証した。但し、連続した造影剤使用による腎機能への影響を避けるため、2 週間以内に再度造影剤を使用した患者を除外した。

【結果】CIN 発生率は PTR で 8. 9%、IVR で 6. 8%と差は 2. 1%（P=0. 022）であり有意差が確認された。CIN 群における両群の Risk Factor を PTR 群：IVR 群にて比較すると、HT100%：87. 5%、HL60. 0%：78. 6%、DM40%：25%、Smoke0%：57. 1%であった。また、術後 Cr 値は PTR 群で 1. 06 ± 0. 38 mg/dl、IVR 群で 0. 93 ± 0. 34 mg/dl であった。

【結語】CIN 発生率は PTR と IVR で有意差が確認され、CIN 発生に PTR が起因する可能性が示唆された。